



平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月13日

上場会社名 扶桑電通株式会社

上場取引所 東

コード番号 7505 URL <http://www.fusodentsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児玉 栄次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 星野 博直

TEL 03-3544-7213

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	7,830	△1.4	△239	—	△225	—	△68	—
25年9月期第1四半期	7,943	12.4	△220	—	△254	—	△215	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	△9.58	—
25年9月期第1四半期	△27.44	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年9月期第1四半期	21,664		5,639		26.0	
25年9月期	21,121		5,677		26.9	

(参考)自己資本 26年9月期第1四半期 5,639百万円 25年9月期 5,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
25年9月期	—	6.00	—	12.00	18.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期期末配当金の内訳 普通配当6円00銭、記念配当6円00銭

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,500	△9.2	710	△52.2	720	△50.0	520	△52.1	72.33
通期	40,500	1.5	720	△24.8	730	△23.4	550	△22.7	76.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期1Q	8,701,228 株	25年9月期	8,701,228 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年9月期1Q	1,512,419 株	25年9月期	1,510,836 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期1Q	7,189,451 株	25年9月期1Q	7,860,138 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済政策や金融政策を背景に円安や株価の上昇など、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、新興国景気の減速など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており先行きは不透明な状況となっております。

当社が位置するICT(情報通信技術)業界においては、復興関連予算の執行による政府建設投資の増加や、企業収益の改善を背景に設備投資が回復基調を続けている一方で、同業他社との価格競争の激化など依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社は『誠心誠意 お客様のお役に立つ愛される企業』をモットーに経営方針に基づく中長期経営戦略を的確に実践するとともに、首都圏、関西圏を中心に業績の拡大を図り、各地方店所においてはそれぞれの地域の特性にあった得意ビジネスの拡販に取り組んでまいりました。特に、東日本大震災復興計画に即した復興支援としての通信インフラ関連ビジネスや防災ビジネスに注力するとともに、法改正、内部情報システム構築などの地方自治体ビジネスを拡大してまいりました。

当第1四半期累計期間の業績につきまして、通信機器部門においては、前期に引続き大手企業向けネットワーク関連ビジネスや、省エネ支援サービスとしての太陽光パネル設置工事などが伸長したことから、前年同四半期に比べ売上高は増加いたしました。電子機器部門においては、大手企業向けシステム案件などは順調に推移したものの、中堅・中小企業における情報設備投資の伸び悩みや、一部売上延伸などにより売上高は前年同四半期に比べ低調に推移いたしました。OA機器部門においては、ネットワーク機器の販売が減少したものの、Windows XPの入替需要を中心としたパソコンやサーバ販売などが伸長したことにより前年同四半期に比べ微増となりました。保守部門においては、ストックビジネスの拡大を目指しお客様の事業継続性の確保、TCO削減などの課題を解決するための扶桑LCMサービスを核として、サポートデスクサービスやコンサルティングサービスなどアウトソーシングサービスは順調に推移いたしました。ハードウェア保守の減少傾向が依然として続いており、前年同四半期に比べ同程度となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における当社の業績は、受注高12,446百万円(前年同四半期比121.4%)、売上高7,830百万円(前年同四半期比98.6%)となりました。利益につきましては、原価率の低減および販売管理費の削減につとめてまいりましたが四半期業績の特性もあり営業損失239百万円(前年同四半期営業損失220百万円)、経常損失225百万円(前年同四半期経常損失254百万円)となりました。四半期純損失につきましては、繰延税金資産の増加により法人税等調整額を計上(貸方)したことから68百万円(前年同四半期純損失215百万円)となりました。

当第1四半期累計期間の部門別売上高は、通信機器部門3,051百万円(前年同四半期比108.0%)、電子機器部門1,721百万円(前年同四半期比83.2%)、OA機器部門1,197百万円(前年同四半期比101.1%)、保守部門1,860百万円(前年同四半期比99.8%)となりました。

<当社の四半期業績の特性について>

ICT(情報通信技術)業界に位置する当社の業績動向は季節的変動が大きく、システム導入および更新時期が、お客様の決算期である3月、9月に集中する傾向にあるため、当社の売上高は第2四半期、第4四半期に集中、増加する特性があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、21,664百万円となり、前事業年度末に比べ542百万円の増加となりました。主な増加理由といたしましては、仕掛品が1,435百万円増加したことなどによるものです。

負債につきましては、16,024百万円となり、前事業年度末に比べ580百万円の増加となりました。負債の主な増加理由といたしましては、支払手形及び買掛金が891百万円増加したことなどによるものです。

純資産につきましては、5,639百万円となり、前事業年度末に比べ37百万円の減少となりました。純資産の主な減少理由といたしましては、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことなどによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の業績予想につきましては、平成25年11月12日付「平成25年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,701,072	2,202,218
受取手形及び売掛金	6,049,804	5,658,243
有価証券	1,400,242	1,200,360
商品	59,846	91,214
仕掛品	1,661,068	3,096,422
繰延税金資産	387,128	515,656
その他	560,902	548,597
貸倒引当金	△35,273	△32,324
流動資産合計	12,784,791	13,280,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,167,319	1,167,319
減価償却累計額	△747,704	△754,692
建物及び構築物(純額)	419,615	412,627
土地	189,993	189,993
その他	1,637,408	1,644,682
減価償却累計額	△821,749	△867,391
その他(純額)	815,659	777,290
有形固定資産合計	1,425,267	1,379,911
無形固定資産		
ソフトウェア	58,484	53,447
その他	22,131	22,131
無形固定資産合計	80,615	75,578
投資その他の資産		
投資有価証券	3,877,447	4,048,192
リース投資資産	718,297	674,478
差入保証金	402,848	400,787
繰延税金資産	1,770,965	1,745,305
その他	942,707	932,787
貸倒引当金	△881,206	△873,301
投資その他の資産合計	6,831,060	6,928,249
固定資産合計	8,336,944	8,383,738
資産合計	21,121,735	21,664,126

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,982,678	6,874,150
未払法人税等	73,292	17,815
前受金	414,977	635,862
賞与引当金	816,750	386,353
受注損失引当金	35,944	56,978
その他	1,464,768	1,656,036
流動負債合計	8,788,412	9,627,196
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
退職給付引当金	4,691,285	4,511,308
役員退職慰労引当金	60,850	60,850
リース債務	1,374,264	1,296,881
その他	29,418	28,050
固定負債合計	6,655,819	6,397,090
負債合計	15,444,231	16,024,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,083,500	1,083,500
資本剰余金	1,076,468	1,076,468
利益剰余金	4,029,201	3,874,017
自己株式	△512,583	△513,232
株主資本合計	5,676,585	5,520,753
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	918	119,086
評価・換算差額等合計	918	119,086
純資産合計	5,677,504	5,639,840
負債純資産合計	21,121,735	21,664,126

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,943,953	7,830,651
売上原価	6,547,500	6,499,991
売上総利益	1,396,452	1,330,660
販売費及び一般管理費	1,617,037	1,569,808
営業損失(△)	△220,584	△239,148
営業外収益		
受取利息	246	364
受取配当金	7,488	12,499
仕入割引	1,611	1,054
貸倒引当金戻入額	4,631	3,003
その他	20,789	8,962
営業外収益合計	34,767	25,885
営業外費用		
支払利息	12,222	10,959
貸倒引当金繰入額	55,788	—
その他	822	1,148
営業外費用合計	68,834	12,107
経常損失(△)	△254,650	△225,371
税引前四半期純損失(△)	△254,650	△225,371
法人税、住民税及び事業税	11,760	11,831
法人税等調整額	△50,765	△168,304
法人税等合計	△39,004	△156,472
四半期純損失(△)	△215,646	△68,898

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、通信機器・電子機器・OA機器の販売および施工、システムソフト開発、並びにこれらに関連するサポートサービスの単一事業を営んでいるため、記載を省略しております。